

周易卷之一

周易上經

周代名也易書名也其卦本伏羲所畫
成周文王繫之義故習之易其卦
王周公之辭也并孔子所作
十二篇中開闢為諸儒
始正其失而未能盡
定著為經二卷

周易卷之一

周易



安倍晴明

陰陽五行占星術

周易上經

乾下

乾渠焉反

之卦也一者奇也陽之數也乾

之卦也

乾

宿曜経開運暦

本命宿：房宿

NOTE 様 2016年11月度宿曜暦

日	月	火	水	木	金	土
		1 尾宿 衰	2 箕宿 安	3 斗宿 危	4 女宿 成	5 虚宿 壊
6 危宿 友	7 室宿 親	8 壁宿	9 奎宿	10 婁宿	11 胃宿	12 昴宿
13 畢宿 成(暗黒日)	14 觜宿 壊(暗黒日)	15 参宿 友	16 井宿 親	17 鬼宿 胎	18 柳宿 栄	19 星宿 衰
20 張宿 安	21 翼宿 危	22 軫宿 成	23 角宿 壊	24 亢宿 友	25 氏宿 親	26 房宿 命
27 心宿 栄	28 尾宿 衰	29 斗宿 危	30 女宿 成			

命の日 本命宿と同じ宿星の日ですから、エネルギーがもともと高いときです。この日の言動は可能性があります。	栄の日 命の日の翌日ですから、緊張感があります。が、物事が栄え金運にも恵まれます。取引、商談、物事の決断などを行ううにも良い日で、喜び事があります。
衰の日 栄の日の翌日ですから、前日の疲れが残ります。エスルギーも徐々に衰退しますが、むしろ会うよりも部屋で考え事をする日です。	安の日 衰の日の翌日ですから、落ち着きが安定に変化し、積極的に行動し人々と会い、商談を行い、忙しく動き回って成果が出ます。しかし、気がかりなことが発生します。
危の日 安の日の翌日ですから安定がやや不安定になり、体力が消耗したり、気を遣い過ぎたりして、なんとなくうまくいかない日です。急な事故や病気に注意をする日です。	成の日 危の日の翌日ですが、小さな危険が過ぎ去り物事が成就しやすい日です。契約をとったりする日ですが、翌日にもちこすと駄目になります。
壊の日 翌日ですがうってかわって何をやることもうまくいかず、目的が達成できません。積極的に行動すればするほど駄目になっていくので整理整頓をする日です。	友の日 前日の壊の日とはうってかわって人間関係が良好で何をやっていてもできる日です。借金をするのなら最高の日です。
親の日 友の日の翌日で、ラッキーな運はまだ続いています。普段できないことをやっておく日です。翌日から、試練の日が近づいてきますので夜遅くまで行動してはいけません。	業の日 今までの行いの総決算の日です。人を傷つけたことがあれば自分が傷つきます。人を慈しんだことがあれば恵みが与えられます。これから本当の試練の日が始まります。
暗黒日 運が下がっていく一方です。こういう日は、無理をせず、いつもよりも財布のひもをゆるめて人の喜びのためにお金を積極的に使うことです。奉仕的な心で過ごすときです。	胎の日 運気が一周して、これから新しい運気が宿りますが、エネルギーはまだまだ小さいので無理はできません。翌日から始まる運氣の上昇に備えて体を整える日です。

《 安倍 晴明の陰陽五行占星術とは 》

■ 占星術の発祥・発展と日本との関係

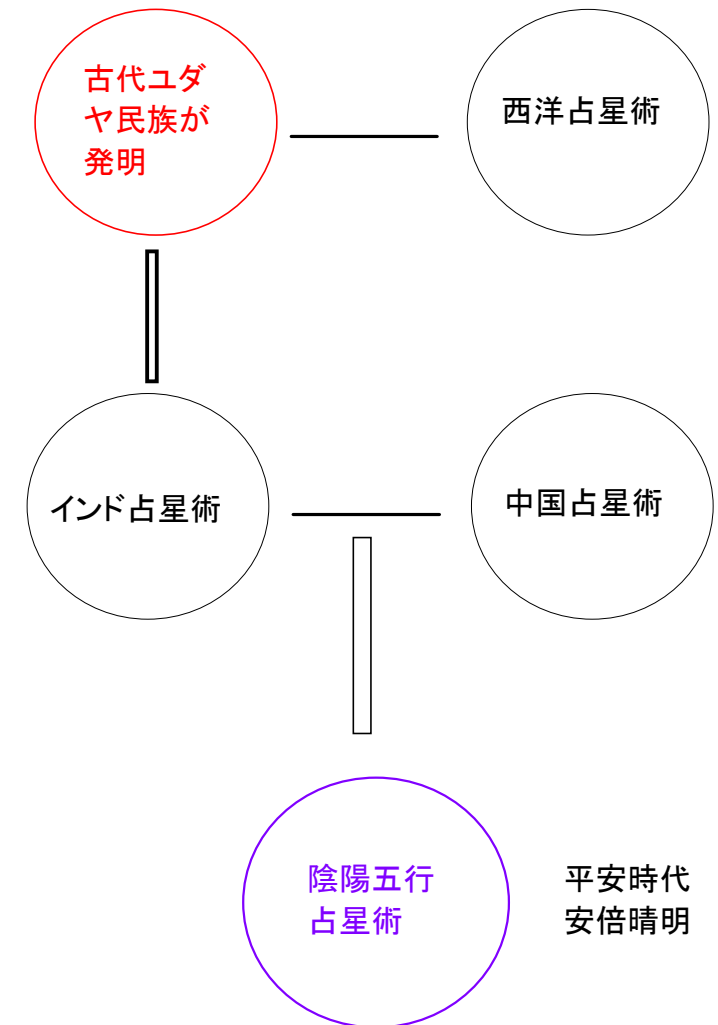
「占星術」とは、文字通り「星」を観察して、人間の生まれながらに天から与えられた個性、能力、性格、社会的使命などを推測し、「占」う「術」です。なぜ、「術」という文字が使われているのかと言えば、その本当の内容は、書籍や文字として伝えられることがなく、全て口伝という形で何千年も伝えられてきたものだからです。

世界で、一番最初に、夜空に輝く星（太陽・月・火星・水星・木星・金星・土星）を観察して、「占星術」の基礎を発明した民族は、古代ユダヤ民族です。その考え方が、ギリシアに伝わり、古代ギリシア文化という形で数学的、科学的に発展させたものが、西洋占星術なのです。つまり、一般に言うホロスコープ、つまり星占いです。

一方で、国を失った古代ユダヤ民族は、シルクロードを旅し、インドに入って、インド民族に適した占星術に発展させていきました。それがインド占星術、つまり、宿曜経なのです。インド民族は、世界で最も右脳的で直感的な民族ですから、そこで発展した占星術も、人間の心の奥深い部分を分析したり、人間と人間の相性などを占う場合に最も効果的なのです。宇宙の星（太陽・月・火星・水星・木星・金星・土星）という物理的な解釈を陰と陽、そして、五行（木性、火性、土性、金性、水性）というようにインド哲学的な解釈方法を用いて発展させていったのです。

さらに、古代ユダヤ民族は、東に移動し、中国に入って、現実的で、実利的な中国民族に適した占星術に発展させていきました。それが四柱推命などの中国占星術なのですが、インドで発展させた陰陽五行という思想をさらに、発展させ実用に耐えうる極めて現実的な術という形になったのです。中国では、歴代の皇帝や諸葛孔明などの軍師が占星術を使ったことは、あまりにも有名です。

さて、日本の平安時代、とは、この「平」「安」という文字が示す通り、戦争のない平和な文化が開花した時代であり、世界中のあらゆる文化、宗教が平安京に集まった華やかな時代でありました。つまり、西洋占星術、インド占星術、中国占星術などあらゆる占星術が導入され、それらを総合的に解釈し、日本流に発展させたものが、安倍晴明の「陰陽五行占星術」なのです。ですから、あらゆる世界の占星術の思想的内容が「陰陽五行占星術」には盛り込まれているわけです。決して一つだけの占い技法に固執した内容ではないことを知っておく必要があります。市販の書籍では、この説明が皆無の状況です。



■権力と陰陽五行占星術

戦争のない平和な時代になると、どうしても富と権力と名誉を求めて、競争の厳しい社会、社会的成功者と敗者が2分化される社会になります。現代の日本もそうですが、平安時代も似たような社会環境だったのです。表の顔は貴族文化が花開いた雅な時代ということができます。裏の顔は、一部の特権階級が、十二単を着飾った美女達をはべらせ、詩歌、管弦、宴などで過ごす享樂的な毎日であったのです。つまり、社会的な勝者と敗者が明確になった時代で、富裕層と貧民層が極端になった時代でもあり、結果的には、敗者は勝者に対し恨み、妬み、嫉妬という強烈な思いを持つようになります。これが怨霊とか鬼という言葉で平安時代は表現されていたわけですが、現代の言葉で言表現すれば、“悪霊”とか“たたり”といった言葉になるでしょう。

この「怨霊」とか「鬼」にとり付かれてしまえば、どんな人間も不幸や災難に遭います。

目に見える相手は、権力や武器や力をもって排除できますが、目に見えない精神や心といったものには、権力も富も、力も武器も無意味なのです。そういった、怨霊や鬼を作り出さないための、神の知恵、人生を切り開く秘密が「安倍晴明の陰陽五行占星術」には沢山秘められているのです。

■安倍晴明の歴史

1. 概要

孝元帝の皇子、大彦命の御後胤として生まれました。延喜21年(921年)～寛弘2年(1005年)。生まれた場所は、不詳ですが大阪説、香川説、茨城説などがあります。大日本史料「讃岐国大日記」というものがあるのですが、そこには晴明が讃岐国香東郡井原庄で生まれたと記されています。父は、安倍保名（あべのやすな）とも言われますし、平将門とも言われます。母や妻の正体は全く歴史上の文献には記載されておりませんが、安倍晴明を一人前の陰陽師に育て、子供達をさらに優秀な陰陽師へと育て上げた賢明な女性達であったことは間違いありません。長男の吉平(よしひら)、次男の吉昌(よしまさ)という極めて優秀な子供に恵まれ、特に、長男の吉平は賀茂光榮と並ぶ偉大な陰陽師として父の亡きあと、藤原道長をはじめ天皇・貴族のために占いや祭祀を行いました。次男の吉昌は晴明もなれなかった最高の位置である陰陽頭(おんみょうのかみ)に任じられました。安倍晴明という“個人”に着目するのではなく、その“家庭”と“友人・パートナー”環境に注目したのが、本当の陰陽五行占星術であり、歴史に隠された内容なのです。

2. 安倍家のルーツ

安倍晴明の祖先は、隋王朝から唐王朝に王朝が変わる激動の時に、中国から渡ってきた渡来人であり、中国から逃れてきた王家の家臣の流れであります。主に祭祀を司り、陰陽師的な役割を担っていたのです。代々軍師“諸葛公明”のようなことを担っており、宇宙の気を読み、人の気を読み、戦略を立てることも司っていたのですが、王家一族の内乱（跡目相続問題）を機に、平和を望み日本に逃れてきたのです。一族が帰化した時代は620年代頃だと予想されます。安倍の姓は、養子となり受け継いだものであって、本来は中国の姓であったのです。

安倍晴明の家系は、先祖代々、神事により婚姻をし、神に信仰の深い女性を妻に娶ることを優先したのです。安倍晴明の母は巫女の娘であり、聖徳太子の姉の末裔で、聖徳太子が夢枕に経つことがしばしばあったとされています。

3. 真の陰陽師になるまでの経緯

安倍晴明は幼少より感性と直観力に優れていましたが、その分人間の自己中心的な欲望や形式的、儀礼的な慣習を好ましく思わなかったのです。自然を愛し、自然にあふれる無限なる叡智には心をよせるものがあつたのですが、死しても醜い怨霊として残る人間の愚かさを感じ、友人も作らずに育ったのです。そんな安倍晴明を改心させた人物が、師である陰陽師・賀茂忠行、保憲（やすのり）親子であり、活躍の場を提供した源博雅（みなもとのひろまさ）であつたのです。

どんなに能力があり、天分、才能があつても、良き師に恵まれ、良き友、良きビジネスパートナーに出会うことが出来なければ、偉業は達成できません。安倍晴明は、その血統故に良き縁に恵まれたのです。もし、あなたが良き運命、運勢を得たいならば、それは過去の縁を経ち、良き縁に接木することが最大の開運術なのです。

その方法にはいくつかの手段がありますが、一番大切なことは最良の配偶者を迎えることです。安倍晴明のような人材を輩出するために、代々神に仕える配偶者を得ることは、神の守護と祖先の守護が活かされ、魔を切り、魔を悟る最良の方法である。映画「陰陽師」で「安倍晴明」を演じた野村萬斎も狂言師として代々有能な血統と伝統を受け継いでいるが故に、人になんとも言えない感動を与えることができるのであって、奥深き伝統のないところには、花は咲かないものです。

真の陰陽師を産み出すには、家庭的伝統と天皇家に伝わってきた先祖の血筋・血統が一番の重要なポイントとなるのです。

天皇家では代々、配偶者を選ぶ時、何よりも相手の血統を重んじてきたのです。この血統的レベルを見抜くことが、陰陽師に課せられた最も重要な仕事であつたはずです。厄を払い、地形を読み、時の流れと運氣を探ることも、最終的には有能な子孫を残し、子孫を繁栄させることに通じるのです。

陰陽道の血統となった賀茂忠行家も安倍晴明家も、子供達が自分に負けない有能な人材であつたことを考えると、陰陽道の秘密がそこに隠れていることを知る必要があるのです。

次に、もって生まれた才能を開花させるためには、自分の短所を叱り、長所を伸ばしてくれる人格的に優れた恩師、厳しい先輩、何でも話し合える友人、パートナーが必要なのです。

4. 安倍晴明の家庭

安倍晴明の妻は、師である賀茂保憲氏が晴明に与えたものであり、幸福な家庭をつくるための知恵に優れ、優秀な夫を生み出す妻、優秀な子供を生み出す母親としての天分の才能を持っていました。神事に精通しながらも、家庭における良き妻として晴明の身を案じ祈り、子供の教育のために夫の素晴らしさを伝えることに徹したのです。また、安倍晴明は元来家庭の生活を第一に考える人物であつたため、妻や子供と過ごす時間を大切にしました。故に夫婦仲が良く、親子関係が微笑ましく、周囲も羨むほど円満でありました。このことは師である賀茂保憲の家庭を見ても理解できるところです。

女性は、安倍晴明の妻のように演じることが最大の開運秘法です。

第一章 陰陽五行によるあなたの性格

■陰陽五行占星術の占断技法の基礎

あなたが生まれた生年月日という暦の情報から、中国の干支暦、インドの二十七宿に変換します。中国の干支暦は、“八字”と呼ばれるものになるのですが、現代の日本ではこの“八字”は“四柱推命”と呼ばれます。平安時代には、恐らくは、“八字”と呼ばれていたはずです。

干支暦というのは、十干と十二支から構成されていますが、重要なのは、“干”です。明治時代以前は、干を“幹”と書き、支を“枝”と書いていたことから、それは推測できます。さらに、平安時代は、干を“母”と書き、支を“子”と書いていたのですが、このことから、干の重要性は理解できます。この干は、人間の性情を司り、具体的には次のようになります。あなたの性格も、どれかに該当しているはずです。



甲（きのえ）・・・意味は大樹（陽の木性）・・・性情はプライド型
本質が大樹の人は、天に向かう大樹の如く人よりもプライドが高く、人よりも勝っていることが快感と感じる性格です。そして、正直で曲がったことが嫌いです。逆に言えば、智謀知略といったことが要求される職種は性格的にあいません。規則や規律を重んじるので、会社などでは堅苦しさを同僚に与えることもあります。つまり、この人がいるだけでなんとなく堅苦しく冷たい感じがするものですから、ルールがないベンチャー企業などにはあいません。短所は、少々横柄で人に命令するのが得意で、気が短く、実力もないのに虚栄をはることです。プロ野球の松井秀樹選手、政治家では中曽根元総理、女性では藤原紀香、小泉今日子がこのプライド型の代表例です。



乙（きのと）・・・意味は草花（陰の木性）・・・その性情は慎重型
本質が草花の人は、風が吹けばゆらゆらと揺れ動くように、青信号でも、左見て右見てまた左見て渡る慎重な性格です。他人に気を使う神経質な面が少なからずあります。優しく温和で心に害を持たないので人には安心感を与える特徴があります。つまり、自分から他人に対し強烈な影響を与えることはありません。何かを思いついても、すぐには絶対行動せず、時が熟すまでじっと待つ性格です。どちらかというと、他人や競合他社と戦って勝ちぬいていかなければならないような職場環境では精神的に参ってしまいます。経営的にも、仕事内容的にも安定した職場の方が性格にはあっています。自分に自信がない場合は、それが災いして他人から影響されやすいという短所があります。政治家では竹下元総理、女性では田村亮子、松任谷由美がこの慎重型の代表例です。

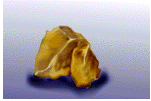


丙（ひのえ）・・・意味は太陽（陽の火性）・・・その性情は華美型
本質が太陽の人は、地球を公平に照らす太陽の如く、腹に一物がなく、ズルクやることができません。従ってズルク立ちまわれないので、トラブルを起こし非難をあびることもあるのです。他人から何を言われても心には響かず、命令されるのを嫌いどちらかと言えば自己が中心に世界が動くという面があります。会社や社会に対し自分の存在と価値をアピールしたくてたまらないので、広報や企画、人前に出られるといった日の当たる場所が性格にはあっています。太陽は全ての万物に光りを注ぐように、面倒見は良く、自分のペースに周囲を巻き込んでしまうのですが、結果的に周囲が迷惑することもあります。自己が中心になりすぎて、周りの迷惑や心情が分からないワンマンという短所があります。女性では、扇千景、皇太子妃雅子様、柴田理恵がこの華美型の代表例です。



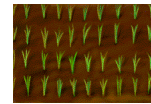
丁（ひのと）・・意味は灯火（陰の火性）・・その性情は情熱・丁寧型

本質が丁の人は燃える火の如く、情熱的で、風流で、知的な考え方をします。火というのは、真っ暗闇の中ではたった一本のロウソウでも大変にありがたいものです。つまり、善悪に対する感性が鋭く、利益が出れば何でも良いといった方針には耐えられない性格です。従って、利益至上主義の会社はどんな大企業であっても合いません。むしろ、社会のためにというしっかりした基本方針をもっている創業者のいる会社の方が例え待遇が少々悪くても性格的にはあうでしょう。基本的には楽天家で、何があっても極端には落ち込まない性格が人から好かれる理由です。また、あまり短所とは言えませんが、どちらかというと受動的なので誘われたら断るのが苦手です。接待や宴会、飲み会に出ないといけないような職種はやめた方が良いでしょう。政治家では海部元総理、女性では、マラソンの高橋尚子選手、田中真紀子、浜崎あゆみ、宇多田ヒカルがこの丁寧型の代表例です。



戊（つちのえ）・・意味は山岳（陽の土性）・・その性情は信義・要領型

本質が山岳の人は何と言っても荒々しい山岳の如くタフで逆境に強く、少々のことでは根をあげない性格です。また要領は比較的良く、環境にあわせて自分を順応させていくため、上司や幹部から信頼性を勝ち取ることができます。その信頼性の内容も、即断即決といった行動の敏捷さで実績を上げたものではなく、一度決定したことは、最後まで辛抱強くやりぬく頑固さの実績ある信頼です。ですから、組織間の調整役なども上手ですし、どんな職種であっても対応できる性格です。反面、あまり環境の変化がない職種や、10年も同じ作業を繰り返しやるような職種ではだんだんと我慢できなくなつて新天地を求める傾向です。欠点は、要領良くやろうと考えすぎて、強情になりやすい傾向があります。プロ野球の工藤公康投手、女性では松たか子、久本雅美がこの信義・要領型の代表例です。



己（つちのと）・・意味は田園（陰の火性）・・その性情は愛情・感情型

本質が田園の人は、何を植えても良く育つ土壌のように、愛情豊かで人から好かれる性格です。人間的には優しく柔軟で強い正義感を持ち、母なる大地のようなタイプです。この人がいるだけで周囲がなごやかになり、会社には欠かせない存在です。ですから経営者は、こういったタイプの人間を各組織に1人は配置して場を明るくする必要があります。しかしこの人に重たいノルマや実績を課すと感情的になって手段を選ばずにとやろうとしますのでかえって逆効果になることを知るべきです。この人は1人孤独に仕事をするのは嫌がります。なるべく人と接する機会の多い職種、例えば、ルートセールス、開発なら企画、顧客サービスなどが良いでしょう。事業家では盛田ソニー元会長、スポーツの世界では松坂大輔などが人から好かれる愛情感情型の代表例です。

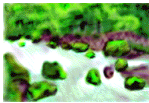


庚（かのえ）・・意味は鉄（陽の金性）・・その性情は暴走・感覚型

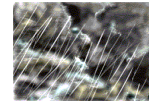
本質が鉄の人は、ピンと来たらガムシャラにやる性格です。相手の迷惑などを深く考える前に、やり過ぎてしまうため人間関係では摩擦が発生しやすいのです。赤信号でも車が来なければ平気で渡る豪気な個性の反面、美しい芸術・絵画・自然などを愛する長所があります。ですからこの人のピンときたものをガムシャラにやれる職種が良いでしょう。生ぬるい環境ではかえって満足できない性格です。また今までの人生でピンとくるものがなければ、まだそういったものに出会っていないわけですので、出会いを求めて色々と職を変えることも良いことです。欠点としては、行動が粗野で計算高く強情という傾向があります。プロ野球の江夏豊元投手、政治家では金丸元副総理、女性では安室奈美恵、中村玉緒、松下由樹などがこの暴走・感覚型の代表例です。



辛（かのと）・・・意味は宝石（陰の火性）・・・その性情は繊細型
本質が宝石の人は美しい宝石の如く、繊細で上品ですが、見た目以上に心が傷つきやすい性格です。そして、何かに関心をもってしまうと、「細かいこだわり」がどこまでもでてきて、こんなにもこだわらなくてもいいのにと周囲が驚く位です。また、先輩や友達そしてマスメディアなどの影響も意外と受けやすいのです。鋭く判断し状況に応じて、自分の立場を変えることができ、同僚と摩擦を起こすことを嫌います。ですから、繊細な神経が生かせる職種や、こだわりが生かせる料理職人、大工、デザイナーなどがあっています。大胆な発想や行動が要求される荒っぽい職種は向いていません。短所は、気が小さく神経質で疑い深い傾向があるということです。プロ野球のイチロー選手、吉永小百合、織田裕二がこの繊細型の代表例です。



壬（みずのえ）・・・意味は河（陽の水性）・・・その性情は戦略思考型
本質が河の人は大河の水の如く、流れる水のように石があれば避け、穴があればもぐり、湾曲では曲がるといった環境にあわせて自分の思考も変えていく計画的で戦略的な性格です。つまり、常に行動しながら頭の中では戦略を練って自分を作り上げていきます。計画を100%練ってから、行動したいので規則や束縛を嫌い、本当の自由を求めてちょっとした冒険的な行動を好むのです。ですから、変化の激しいハイテク業界、金融業界といった職種にはあっています。変化のない職種は2，3年で飽きて放り出してしまいうでしょう。短所は、気が短くせっかちで、自分の考えをゴリ押しして上司や幹部とトラブルを起こしたりすることです。ビジネス界ではビルゲイツ、女性では松嶋奈々子、山口智子がこの戦略思考型の代表例です。



癸（みずのと）・・・意味は雨（陰の水性）・・・その性情は頑固型
本質が雨の人は雨露のように、色々なことに対し面倒見が良く沈着冷静に行動する性格です。急激な変化を好まず、どんな事故や事件に対しても決して慌てることがありません。言いかえれば、転職や職種を頻繁に変えるといったことは好みません。奉仕的性格で、いつもにこやかな感じをうけますが、その背後では冷静な計算がいつもあります。短所は、冷静さが行き過ぎると冷淡な行動をとる傾向があるということです。また、あまり積極的に人と関わることが好きではないということでしょう。プロ野球の王貞治、斎藤雅樹、政治家では小渕元総理、女性では、樹木希林、秋篠宮紀子様がこの頑固型の代表例です。

十干の起源

十母



十幹



十干

性格を司るのが十干

干支暦 戊辛癸
辰酉亥

そなたの性情を司る十干の精霊は
戊 なのじゃ！



■あなたの性情を司る十干

・戊 要領型

本質が山岳の人は何と言っても荒々しい山岳の如くタフで逆境に強く、少々のことでは根をあげない性格です。また要領は比較的良く、環境にあわせて自分を順応させていくため、上司や幹部から信頼性を勝ち取ることができます。その信頼性の内容も、即断即決といった行動の敏捷さで実績を上げたものではなく、一度決定したことは、最後まで辛抱強くやりぬく頑固さの実績ある信頼です。ですから、組織間の調整役なども上手ですし、どんな職種であっても対応できる性格です。反面、あまり環境の変化がない職種や、10年も同じ作業を繰り返しやるような職種ではだんだんと我慢できなくなって新天地を求める傾向です。欠点は、要領良くやろうと考えすぎて、強情になりやすい傾向があります。プロ野球の工藤公康投手がこの要領型の代表例です。

■あなたの家族、上司、周囲の方へ

・戊 要領型

この人は、要領良くうまく立ちまわることが得意ですので社交性をいかした仕事を任せると良いでしょう。達成するのに少々困難なテーマを与えるくらいで丁度良いでしょう。また周囲から反対されるプロジェクトを任せる位で丁度良いでしょう。若いうちは、なるべく組織やグループの中に入れて人にもまれることが必要です。自分の主張はあったとしてもなかなか表には出しませんし、チャンスが来るまでじっと我慢強く待っている性格です。ですから、この人が、本音を言ってきたらじっくりと時間をかけて100%の真心で聞いてあげることが重要です。多少のキツイ叱り方でも受け止める器があるので、がんがんに訓練しても良い人です。

■あなたの性情のウィークポイントは？

・戊 要領型

要領よく、効率的にやることばかり考えていますので、いつも考えています。その結果、こだわらなくても良いことに、こだわってしまい、重要な本質を見逃してしまうことも多々あります。やらなくても良いような努力をしてみたり、不要な全集をつい買ってしまような、自分勝手なこだわりの精神です。

もともと、長時間の思考は得意な方ですが、思考することよりも、まずは、行動してみても周囲の反応を見るといった姿勢の方がうまくいきます。

干支暦 戊辛癸
辰酉亥

性格は運をつくるのじゃ



■運をつかむときはどういうときか？

あなたが運をつかむとしたら、過去のしがらみにとらわれず、新しい人脈形成のために社交性を大いに発揮し始めたときです。その努力の結果、成功したとしても、また失敗したとしても、なんらかの形で運をキャッチすることができます。重要なことは、人の様々な価値観の違いを受け入れる寛容さを発揮するということと、情にほだされてお金を人に貸さないことの2つです。もし、あなたの努力が、間違っていた場合は、正しい理想に気がつくチャンスが与えられ、もし努力が間違っていなかった場合、目に見える形の報酬が与えられます。

■運を逃がすときはどういうときか？

あなたが、運を逃がすとしたら、一度決めたことは貫き通そうとしているのに、周囲は融通が利かない人として高く評価してくれなかったときです。ここで重要なことは、周囲が評価してくれないから、運を逃がすではありません。周囲が評価してくれない理由をあなたが、見逃していたから運を逃がすのです。もともと、どっしりとして、人に安心感を与える性格をしているのですが、いつでもどこでも一本調子で頑固な言動が目立ってきたとき、必ず周囲は、あなたに対し「頭カチコチ！」と反発心をもってしまいます。そういう状況では、運をキャッチすることはできないのです。

■もって生まれた運以上の運をつかむことはできるのか？

持って生まれた運をつかむための説明をしてきましたが、その段階の幸せをつかんだあとは、もっと次元の高い幸せをつかまないとなりません。そのためには、社交性を発揮して人脈を広げるのは当然のこととして、もう少し無駄のない、合理性が身につくように性格を進化させていくことが重要です。あなたにとって、ものごとを計画的に進める才能は、持って生まれたものではないので、これから習得しなければなりません。習得の方法は1つです。あわてず騒がず冷静で、先々の事まで計算してから行動に移し、いつの間にか優位な立場を確保しているような人とつきあうことです。

干支暦 戊辛癸
辰酉亥

そなたの性分をズバリ見抜くぞよ！



■あなたと同じ能力の持ち主で、目標となる人物

心の開放型

オープンな心で物事に取り組む才能です。自分の才能を生かして社会に名を残したいという欲望は人よりも強いものがあります。その結果、興味をもった分野の技術やノウハウの習得は凄まじく早いものがあります。スポーツの分野では、イチロー（打撃のプロ）、佐々木主浩（リリーフ投手）新庄剛志（天才肌の野手）、堀内恒夫（200勝投手）。ビジネス分野では、水道のように安くて品質の良い電器製品を日本中に普及させることが目標（つまり社会に役に立ちたいという才能）だった松下幸之助があげられます。また当社の調査によると、メーカーの開発部に勤務している技術屋と呼ばれる人達が、このタイプに多いのも特徴です。芸能界では、柴田理恵、山口智子、木村拓哉がいます。

■あなたのヤル気を刺激するためには？

心の開放型

社会的な善悪と叱る理由を最初に明確にして叱ることです。このタイプは奇想天外な発想をしますので周囲が理解できないことをやったりします。しかし、これに対し感情的な叱り方はだめです。ひょっとしたら誰も気がついていないことに気づいており、それを実行しているのかもしれませんが。ですから叱られるような行動をした背景にある動機までヒアリングを行いましょう。そしてその動機が善であった場合には、動機を誉め、結果の行動を具体的に細かく指示しなければなりません。動機そのものが間違っている場合には、結果の行動を叱るのではなく、動機つまり心の感じ方を叱らないと意味がありません。

■あなたに相応しい生活環境は？

心の開放型

自分なりの意見・見方・感覚や方針があるので、それに合わせた仕事内容が良いでしょう。但し、一度その方針を決定したら頻繁に変更するのではなく、最後までその方針を貫きとおす姿勢が良いのです。それが能力の訓練になります。人とは違った意見や物事の見方が得意なので、あまり社則や仕事の仕方を画一的なルールで縛られない方が良いでしょう。細かい仕事の仕方を指図するのは良くありません。イチローの振り子打法を育てるような懐の大きい姿勢が上司には必要です。鋭敏な能力が災いして毒舌になる場合も多いのですが、そういった場合は、上司が配慮して、孤立させないようにうまく取り計らうことが必要です。独特なセンスを上司がうまく伸ばせば、思いがけない発展をします。

第二章 通変星によるあなたの能力

■行動特性・能力を司るのが通変星

次にこの十個の干を組み合わせると、気が流れ、内容が変じて通じる通変星となります。これは、人間の目に見える行動の特性を現します。

同じ五行の組み合わせが、比肩と劫財です。木性と火性のように洩れる五行の組み合わせが、傷官と食神です。木性と土性のように剋する五行の組み合わせが、正財と偏財です。木性と金性のように剋される五行の組み合わせが、正官と偏官です。木性と水性のように生じられる五行の組み合わせが、印綬と偏印です。

■通変星

行動特性を司り、能力を司るのが、通変星です。陰陽五行占星術でいうところの能力とは、同じ事象を見た場合の心の動き方であり、知能の高い低いを言うのはありません。IQの高い低いを言うのでもありません。学校の成績などは無関係です。

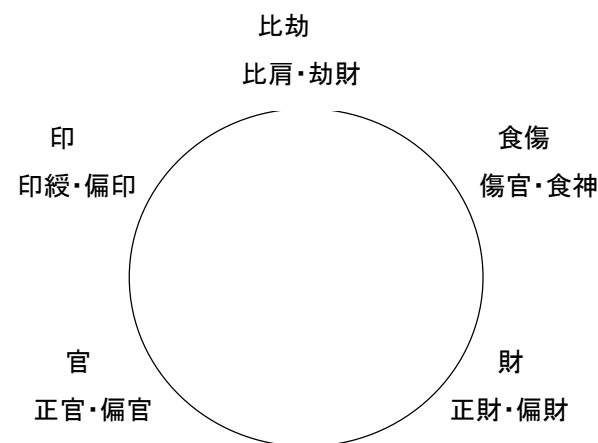
10通りの通変星があるのですが、ここでは、それを大きく5分類にします。なぜならば、比肩と劫財は、同じ競争したいという心が起点になっています。傷官と食神は、でしゃばりたい、有名になりたいという心が起点になっています。正財と偏財は相手を支配したいという心が起点になっています。正官と偏官は、相手から管理されたいという心が起点になっています。印綬と偏印は、右脳のアイデアが浮かぶ心が起点となっているからです。

比肩と劫財を「比劫」といい、傷官と食神を「食傷」といい、正財と偏財を「財」といい、正官と偏官を「官」といい、印綬と偏印を「印」とまとめて呼びます。

(例)

ある保険の法人向け営業マンを例にとって説明していきましょう。色々な経営者と出会って話しができるのが楽しいという心があれば、その心は通変星でいうところの「印」の心です。営業実績をあげるためには法人ユーザーが一番という心があれば、その心は「財・官」の心です。あいつが、法人ユーザー開拓で実績あげているから私もという心があれば「比劫」の心です。業界初の最先端の保険システムだから、紹介したという心があれば、「食傷」の心です。

また、人間とは、環境の生き物です。家庭環境や職場の環境によって成長する人もいれば、ダメになっていく人もいるのは、常識の範囲で考えても分かることです。ですから、その人の家庭環境を問診できない段階で能力判断は危険だということを認識して、陰陽五行占星術理論を使わないと、唯物的な運命学になってしまいます。



■人指向型

1人で構想やプランを練って戦略的に細かい仕事を進めていくといったことは苦手です。そういったことよりも、人と会ったり、交渉したりしながら人の輪つまり人脈を広げて行く能力が基本なのです。何事もコレと思ったことは会社の方針や上司の指示など関係無く熱心にやるので、仲良しグループや派閥などを超越して社外にも人脈を形成していく能力があります。特に営業などの実績が数値で表される分野では他人に負けることが悔しくてなりません。同様に、競争社会で競合他社に負けるのが大変悔しく思うタイプです。ですから、そういった競争心や人脈形成能力を生かした職種が適性です。

■心の開放型

社会・国家に対し何か役に立ちたいという奉仕の心があります。そのために自分の持っている感性、才能、能力を使いたいという才能なのです。人とは一風変わった感性で、普通は気づかないことを鋭敏に感じ取るセンスがあります。すなわち、徹底したこだわりの職人、未来技術を担うエンジニア、宗教家、社会革命家といった職種が適性です。何を見ても聞いても人とは違った観察眼・意見を持ちますので、人との摩擦やトラブルは発生しやすいでしょう。

■納得・支配型

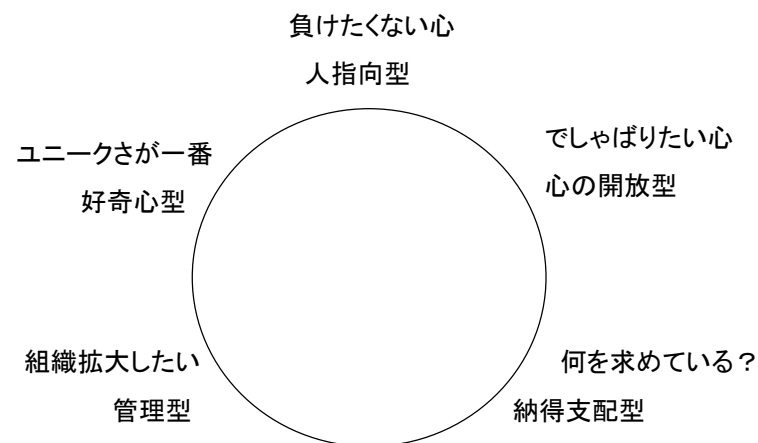
人が何を求めているのかを読み取る天性の能力があります。つまり人がどういったことに満足し、喜び、何をしてもらいたいのか？を察知する能力です。それが社会人として訓練されるうちに、マーケット分析能力に発展していくでしょう。すなわち、事業家、営業企画、開発のリーダーといった職種が適性です。TVのニュースを見てもその背景や隠された本当の内容は何なのか？を常に研究するような生活を続けていけば事業家としての才能が開花するでしょう。

■管理型

秩序がないところに秩序を作りそのルールを守らせる組織管理能力があります。会社では上司の補佐役、秘書、中間管理職といった職種が適性です。つまり一匹狼で仕事をするのではなく、組織の一員として活躍できるような職業が良いのです。もっと言えば、良い先輩や良い部下、良い経営者が多くいる会社では、どんどん成長するタイプです。逆に悪い上司や経営者であっても謀反を起こすことはできず、会社が傾くまで我慢し続けるタイプです。退職金を上乗せしても、早期退職を嫌がるタイプです。

■好奇心型

型にはめられた窮屈な会社や、組織、就業規則がうるさい社則がある会社の中では才能が発揮されにくいタイプです。自由奔放な枠のない環境におかれると独特のノーベル賞級の発明や企画をすることもあります。しかし、その発案は実利に結びつくかどうかと言えば、そこのつめは甘いタイプです。何でもどんどんと挑戦させてくれるような会社、そして実績を数値だけで決めないような会社であれば職種は何でも良いでしょう。できればチームの一員として働ける環境が良いでしょう。



干支暦 戊辛癸
辰酉亥

そなたは本当の能力に気づいておるか？
意外に、自分を知っている人は少ないものじゃ。



■神様から与えられた天賦の行動特性

心の開放型－鋭敏（傷官）

心の開放型の能力ですが、どちらかという自分の鋭敏な才能を開放させたい、そして人がやらないことをやってみたいという能力です。実際、トップレベルの生意気な技術者や個性的経営者に多いタイプです。弁舌も巧みで最初に会った人を信用させることが得意です。人を馬鹿にしたりするような言葉が出るようであれば、自分が一番だという心があります。しかし自分の能力を開花させるために努力は惜しみませんので、今の複雑な世の中では一芸に秀でた才能を発揮しやすいタイプと言えましょう。早くどの分野で生きていくのかを決めることです。

■その天賦の能力が悪い方面に出るとどうなる？

心の開放型

鋭い感性の持ち主ですから、技術や開発に携わる人が多いようです。または、整体師、こだわりの料理人、芸術家、音楽家などの芸能関係、品質管理、安全管理などの繊細さが要求される職業も多いようです。こういった才能が悪い面に現れると、プライドばかり高くて、自分の実力以上のことをやりたがる傾向となります。また、自分の片寄った考えを、無理に押しつけてくるので、お節介と思われることも多々あります。口八丁ですが、実力はそれほどでもありません。自分の考えを言う前に、相手の考えと意見を最初に聞けば開運します。

■配偶者への行動は？

人指向型－独立

普段の生活で、異性だからと言って、特別な扱いや考えをしないタイプです。つまり、友人のように気楽に付き合っていくのが得意です。しかし相手に合わせるというのではなく、あくまでも自分のペースで、そして自分の考え通りにやっていきたいというタイプですから、摩擦や考えの相違が多いのは避けられません。配偶者以外にも異性の友人は多い方ですが、あくまでも幅広い人脈の一部と考えています。

干支暦 戊辛癸
辰酉亥

仕事・職業運を神に聞いてみるぞよ。



■あなたの個性を生かす適職は？

心の開放型

どんな職種であったとしても、鋭い感性を生かした職種でないと能力を発揮できません。当社の調査では技術や開発に携わる人が多いようです。または、整体師、こだわりの料理人、芸術家、音楽家などの芸能関係、品質管理、安全管理などの繊細さが要求される職業も多いようです。開発職と言っても、まったく新しいユニークさと斬新さが要求されるようなものは向きません。例えて言えば、自動車の燃費をあと10%改良させるにはどうしたら良いのか？を研究する職種などが向いているのです。組織の中間管理職には向きません。人を管理する位なら、自分でやった方が早いと思うからです。そういった意味で、特殊なノウハウをもった企業のオーナーか、会社では部下をもたない1匹狼の職人が良いのです。人を温かく育てるのは不得手です。

■あなたが管理職になった場合は？

心の開放型

この人が上司になった場合、鋭い感性を生かして技術開発のリーダーになる人が多いようです。しかし自分一人でやるのは得意なのですが、人を管理したり育てたりするのは得意ではありません。鋭敏な発想や感覚のゆえに部下のやっていることに対し悪い面が目につくのです。指示通りやると「もっと工夫しろ」と言い、工夫すると「指示からずれている」と言うような難しい上司です。従って、部下は嫌気がさして会社を辞めることも多いものです。さらに上司の指示に対しても、その欠点が見えすぎて噛み付くことがあるのです。ですから、部下の管理は片腕の人に任せましょう。人事部はこの人に、多くの部下を管理させてはいけません。徒弟制度のような形でノウハウを伝授するのが良いでしょう。専門分野で生きた方がこの人のためです。

■あなたに必要な友人・パートナーは？

心の開放型

この人は、もともと心が開放されており自分の才能を発揮して認められたいという気持ちが強いのです。実際に技術畑などのエンジニアリングの世界で能力を発揮している人もいれば、同時通訳や、先端的設備の整った工場長として采配をふるっている人もいます。つまり人とはちょっと違った切れ味が特徴です。そのために人を馬鹿にしたり、キツイことを言ったりすることがあります。ですから、この人にふさわしい能力をもったビジネスパートナーは「管理型」または「好奇心型」です。管理型は、自制することを教えてくれます。また好奇心型は一緒にいるだけで楽しくなるような雰囲気をもっているの、人から好かれるコツを教えてくれます。また、180度違った観点からの発想を教えてくれます。

第三章 二十七宿によるあなたの感性

■インド占星術（二十七宿）の基礎

インドという国は、印度とも書き、印の国なのです。つまり、世界で一番右脳の、直感的な民族なのです。この民族が発明した占星術は、人間の感性を司る惑星である「月」を中心にした占星術なのです。具体的には次のように27宿の星があります。

昴宿（ぼうしゅく）

この宿に生まれし人、名誉高き上宿なり。善を念じて和合し、男女を多くす。学問を勤めて儀容を有す。性は剛情にして詞弁巧みなり。高德宿なれば身上も宜し。匹夫は気性高く人に憎まるも相応の果報あり。学問と芸術を司るスバルの星ですが、競争社会で生きていく凶太さと、悪知恵には欠けます。野心を持ってしまうと、失敗する人が多いので、無理のない範囲でやることです。

畢宿（ひっしゅく）

この宿に生まれし人、財産を多くして男女を足す。性は聡明にして布施を好む。心胆を有して口語を省き、心意翻動ず。行歩牛王に似て容儀を有す。火難あり。婦人は容貌美麗、沈静にして大徳を享くる。庶民的で飾り気がなく、のんびりと見えますが、聡明で、徳高く、何者も恐れずに自分の信念に基づいて行動する融通性に欠けるタイプ。

觜宿（ししゅく）

この宿に生まれし人、名聞徳行を有し、姿容と心胆浄く慎しみあり、貴に近づき愛敬あり。薬を服するを愛して力を得。心と口は隠密にして挙動軽率ならず、人の為に法を好み礼儀を問う。弁舌と知略による戦略で財を築いていくタイプで、ある意味教祖的な素養があります。人に使われるよりも、人を使い事業をやっているのが良いでしょう。敵を作りやすいので人には優しくすることです。

参宿（しんしゅく）

この宿に生まれし人、怒りを嗜み口舌毒害を好む。心硬く事に臨みて怯まず。悪業を為さんとすれば利益少し。貴に近づき能く信を守る。性は手早く、才気過ぎて身を破るなり。少し盗心ある者あり。オリオンとも言い、精力的に動いて獲物を獲得する狩人です。目的のためなら、破壊的行為も辞さない革命家で、精力盛んですが、意外に用心深いのが特徴です。創意工夫がモットーです。

井宿（せいしゅく）

この宿に生まれし人、手裏の銭財あるいは有り、あるいは無し。情は功を建つるに切にして名賞を愛樂す。人を作り、官を利し、たとえ官厄あるも解脱を得。病多く、男女多し。優れた官僚的資質があり、権力をもちたがり、人を管理する能力があります。また、有名になりたいという欲望がありますが、参謀役の方が、災いがありません。

鬼宿（きしゅく）

この宿に生まれし人、相端正にして邪僻なく、心意あり。世情に明るく財豊かにして先んじて能く事を処す。人と親しみ貴人の愛を受く。病難を慎む。親しみやすい性格ですが、直感が鋭く、目まぐるしく発想が変わり、周囲から見ればその行動が理解できないことが多々あります。自由奔放に物事を捉え、型にはまることが嫌いで身軽に飛び回るのが得意です。

柳宿（りゅうしゅく）

この宿に生まれし人、軟眼にして睡り多し。性剛情にして怒りを嗜む。布施を好み、また侵奪も好みて著しく諸事に耽る。善にも悪にも強く、一切の悪業成るも愚なれば慎むべし。見かけは温厚に見えますが、気性は激しく、キツイ論調と執念深さで、相手を征服するようなタイプです。常道から外れた分野で成功し、カリスマ人、宗教家が多いようです。

星宿（せいしゅく）

この宿に生まれし人、資産多く、名聞善知識あり。また悪しき知識も多く、悪にも強し。一生、神を祭るを好む。他人に勞すれば繁盛し、独立せば安寧なるも貧し。他家へ縁組みする星なり。言葉に慎むべし。

一般の常識や慣習が嫌いで、反骨精神があり、自分の納得しないことは、頑としてやらない決意に満ちています。納得したものは、獅子のごとく悠々と最後までやり遂げます。公務に従うのが苦手で、名前だけの名誉などは決して求めないタイプです。

張宿（ちょうしゅく）

この宿に生まれし人、妻多くして男女少なし。出ずる語は人意に快く、人の愛を得。資材は少に似たり。知策あるも多業ならず、他人の財を得。柔軟の事をなして安樂に暮らすも、人を見下して誤る事あり。

見た目は、豪快で獅子のような振る舞いをしますが、実は繊細な神経をしていて、言葉で相手の心に入り込むのが得意です。反面、知恵がありますが、1つの特定の分野に限ってだけやり遂げることができます。他人の助けを借りてうまくいくことが多いようです。

翼宿（よくしゅく）

この宿に生まれし人、鞍馬に乗り車牛を馭するを愛す。喫用を布施し、処に触れて遊従す。穏やかに語り、音楽謡曲を愛し楽しむ。鬭争は宜しからず。農業を修むるか諸事安久の事には吉。天子の星とも言い、考え方や信念の内容が大衆的ではありません。見た目は温厚に見えるのですが、独善的でワンマンで、爆発すると鬼のように怒ります。

軫宿（しんしゅく）

この宿に生まれし人、物事を成すに風の如く疾く、諸宝物業を有す。州郡に遊禁す。稟性は嫉妬、性は裏なり。病い少なし。能く功德を立て、喜捨し、車乗を愛す。

見た目は柔和で女性宮の代表星です。精神的には、純粹で、表舞台で脚光を浴びるよりも、縁の下で支える方が得意です。気は短く、ひたむきにやりますが、財を築くよりも、精神世界や芸術世界で世界を飛び歩くのが好きなようです。

角宿（かくしゅく）

この宿に生まれし人、経綸を善くし、六畜を豊かにし、所作事多し。手功所作、人情に叶う。子供は男で三人あり。性は剛情にして功みあり。病難・水難を用心すべし。

スピーカ星とも言い、人との協調性に優れ、和を乱すようなことはしません。学者のような筋が通った考え方が得意で、自分がコレと思った分野で、コツコツと生きるのが好きです。

亢宿（こうしゅく）

この宿に生まれし人、頭首を統領し、弁口能く、財物を経営し、所決を巧みに成す。装束を清め、喫用を愛し、功德を造りて力を足し、家風を益す。火難に用心すべし。物事は控えめが宜し。

秤宮の代表星で、バランス感覚と正義感と実直性のある信念を持っていて、それを永遠に貫き通す力があります。自分の出番がくるまでは、じっと耐えてますが、出番がくると死を恐れずに行動します。

氏宿（ていしゅく）

この宿に生まれし人、質剛柔なり。天仏に供養するを好み、心性は事を解し、善良にして、君主の寵愛を受く。財物を富まし、家を修め家族を養いうる。大事より小事を成す巧みなり。自分の信念を貫き通すためには、常識や慣習などを無視し、自由に行動し、規制に抵抗するタイプです。一見乱暴に見えますが、人よりも洞察力が鋭く、先見の目があるので、そう見えるだけです。つまり、宮仕えには向きません。

房宿（ぼうしゅく）

この宿に生まれし人、威徳を有し、男女を足し、錢財を豊かにす。快活にして、一族を超越して家風を榮えしむも末を遂げざるなり。事を成すに疾速、その為に崖より落つる如き病の危険あり。

富貴星とも言い、財を無理なく築き、大衆の望むものを直感的に見抜く力があります。しかし、事を急ぐあまり、敵を作り災難に会うことも多い傾向です。事業家や政治家を目指す星です。

心宿（しんしゅく）

この宿に生まれし人、族衆に処して皆より愛敬を得、君主に事を承けて礼待を蒙る。性、悪を挫き、善を奨め、運命皆為す所を得。知慮深く、物を恐れず、人の嘘を窺う質あり。アンタレス星とも言い、人前や組織の中では好かれる存在となり、演出の得意な役者的才能があります。善と悪の両面が内在しており、正義感にもなれば、知略に優れた悪人にもなれることができます。

尾宿（びしゅく）

この宿に生まれし人、衣食を足して庫蔵を多くす。性は凶太く、策略あり、闘争を好む者あり。能く物を解し、財力を得、花菓を愛す。争事、剣難に注意。大人に従って事を行えば吉運は末にあり。弓宮の代表星であるように、自分が狙った獲物は、執念深く、黙々と誰にも媚びることなく、手に入れていきます。その戦い方は名人芸で、自分の得意分野で生きて成功します。

箕宿（きしゅく）

この宿に生まれし人、江山を遊び渉り、利潤を経営し、辛苦に耐ゆ。婦人を愛して病多く、酒を愛す。大人を恐れず我意強きため目上に憎まる事あり。大酒大食を慎むべし。弓宮の主星で、ヤクザな狩人です。見るからに狩人のような荒々しい行動特性で、狙った獲物はどんな知略を練っても必ず落とします。しかし、一度諦めるとカラリとしていて、次の獲物を狙います。見栄も名誉も欲せず、移動しながら商売するのが好きです。

斗宿（とうしゅく）

この宿に生まれし人、鞍馬を愛し、山林を遊歴し、祈祷祭祀を愛す。賢良と結び交わりて技能を多くし錢財を足す。衆人を恐れず、相手剛なれば尚倍して強なり。表面は穏やかですが、宗教的な直感が鋭く、神秘的なものに惹かれます。世渡りは上手くはありませんが、大衆に訴えかける能力があり、自分を引き立ててくれる人が現われ、名誉を得ることができます。

女宿（じょしゅく）

この宿に生まれし人、力量あり。病少し。布施を好み、法律を守り、道業に勤めて宗祖を崇う。家業盛んなれど、陰性なり。色難を慎むべし。陰謀詭詐に利あり。闘争を司る磨宮の代表星。見た目は、淡々としているような感じですが、自分の仕事や関心事になると、熱っぽく語り、勢いづきます。他人に親切か思えば、冷酷な戦略を練ることもできます。秩序ある世界や学問を好むので、実利になるなら何でも良いというタイプではありません。

虚宿（きょしゅく）

この宿に生まれし人、穀食を足して貯積を多くす。長貴勝れ、君主の寵愛を蒙る。神廟を祭るを好み、終身快樂す。辛苦に耐ゆる者あり、性格は陰。困窮の節、悪心生ずるを慎むべし。気品が高く、自分の考えは大衆とは異なるという、少し冷めた感じで気難しいタイプです。気に入った相手とは、苦勞を共にし、いざという時には武人にも勝負師にもなることができます。他人に頭を下げるのが不得意。

危宿（きしゅく）

この宿に生まれし人、酒を嗜み、淫に耽り、辛苦に耐ゆ。心胆硬く、人と交わりを結びて久しく長く終始を存せず。怒り多く、能く事を処分す。薬性医方を解す。家運繁盛するも散財火難を慎むべし。理性よりも感情が優先し、気が短く物事を単純にしか考えられません。善良な人柄ですが、思考が単純なゆえに、騙されたりすることもあります。しかし独自のアイデアで、人がやらないことを推し進めていくことができます。

室宿（しつしゅく）

この宿に生まれし人、剛猛にして他を顧みざる癖あり。怒りを嗜み、劫奪を愛し、夜行を能くして恐れざる者あり。稟性は軽躁にして進展に早く謀計あり。正直律義なるも慈悲少なし。自分を押し通す強引さと強さがあり、欲望に対し貪欲です。欲望を満たすために、社交的で、人脈を作っていきます。商売が上手ですが、心から本音を言える友人は少ないのが特徴です。

壁宿（へきしゅく）

この宿に生まれし人、君主の恩寵を承け、布施を愛し、天仏を供養し、典教を学習す。性は剛猛にして人を嫌い物事に慎密なり。長寿増益を求むるに吉なり。

善良で温厚な人柄で、自分を飾ることもなく、庶民的です。一方で、心では、鋭く相手を判断して、好き嫌いも激しいようです。名よりも実利を優先し、陰謀などを練って、財産を蓄えるのが得意です。意外に異端的存在となった方が、成功したりします。

奎宿（けいしゅく）

この宿に生まれし人、父祖の産業を所有し、自ら経営して銭財を得、総て用い尽して後に更に之を得。性は慎密、義に堅く、布施の業を好む。遊蕩を為すも、善人を慕い、律儀なり。経典を明かにす。

気品が高く、低俗な仕事や話をするのが好きではありません。考えが深く、思いつきでやってしまうことはありません。見た目は、常識的で、付き合いやすいように見えますが、付き合っていくと自分の考えを頑として変えず、意地を張る方です。智謀知略よりも名誉を求めて成功します。

婁宿（ろうしゅく）

この宿に生まれし人、技能を多くして疾病少なし。妙に医方を解し、布施を好み、臣下の徳を解す。田宅足りて僕従多し。君子に仕えて堅く勤む。性は慎密なれど、他人との交わり深からず。実利を迫りかけるよりも、学問を迫りかけてしまうタイプで趣味に、仕事に忙しく動き回る人が多いようです。大衆の心を魅惑するような企画が得意で、奇抜なアイデアで流行を演出していきます。感情よりも理屈が優先し、納得しないと進めません。

胃宿（いしゅく）

この宿に生まれし人、心胆硬にして、酒に耽り肉を嗜み、強奪強暴を為す者あり。軽躁にして恩讐多し。男女に恵まれ、僕従多し。運は四時共盛衰なく他の養いを受けず、知恵の相違甚だしく異なる。

気性が激しく、怒りがすさまじいのですが、日常生活では、ユニークな面があります。思い込んだら、執念と智謀知力で、複雑怪奇な行動を取り、人を心から信用することがありません。反逆の星でもあり、嵐の中で生きていく波乱の人生を送ります。

<組織に束縛されない柔軟な安倍晴明>

密教系の占星術である宿曜経を日本に最初に導入したのは、空海（弘法大師）である。

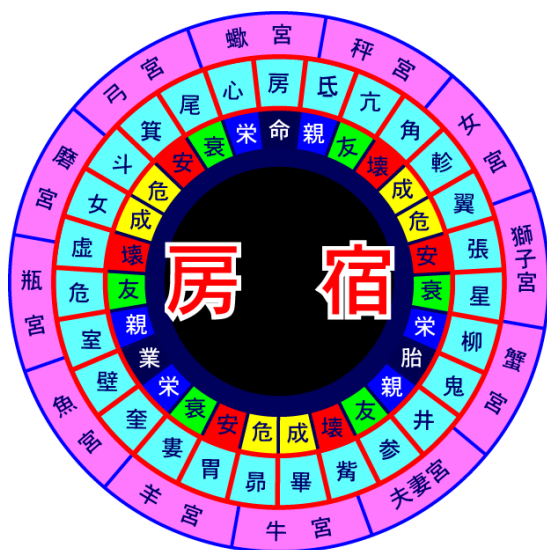
空海は、西暦800年頃に活躍した人物である。そのあと200年経過して安倍晴明の平安時代になった。安倍晴明は、組織的には道教系の陰陽師の集団に属してたにも関わらず、柔軟な思考で、インド系の密教占星術も習得していった。

常識や既存の枠、世間体、人の評価を気にするというのは、自分を縛る呪縛であることを安倍晴明は、悟っていた。

単に、組織に反発したくて、反発していたわけではない。

NOTE様 1983/10/7 生まれの鑑定書

干支暦 戊辛癸
辰酉亥



《宿曜経の二十七宿の盤》

カルマから逃げる生き方は良くない
カルマを活用すると開運するのじゃ！

■あなたは、どんなカルマを背負って生まれてきたのか？

あなたは、華やかなものを追い求めて生きていくといった、カルマを背負って生まれてきています。何をするにも、豪華絢爛な世界に身を置いていないと面白くありません。一流のものだけを好み、それ以外には目もくれず、たとえお金が無かったとしても、借金をしてでも栄華を求めて、外見を飾ろうとします。しかし、大きな舞台に立たせれば、輝く華やかさは天性のものがあります。自分の年収の5倍ぐらいあるような、豪勢な生活様式を、いかに獲得してゆくか、これがあなたに与えられたカルマです。

■カルマを活かす、生き方はどういうものか？

あなたは、あくせくと汗水流して働くよりも、社会的地位のある人から、いかに、引き立てをしてもらえるかを考えていますので、他人には、要領のいい人だと、思われているかもしれません。ですから、お金と品物に関心を持ちすぎだと非難されることも多いでしょうが、そういう自分に自身を持っていいいのです。地道に努力する事が最高だと思っている人、要領の悪い人、と無理に調和しようとしてもかえってあなたはダメになってしまいます。いかに、一流の品物に囲まれた生活と、高い身分を手に入れるか、これがあなたに与えられた人生哲学であるべきなのです。

■カルマを越えていくためのパートナーは？

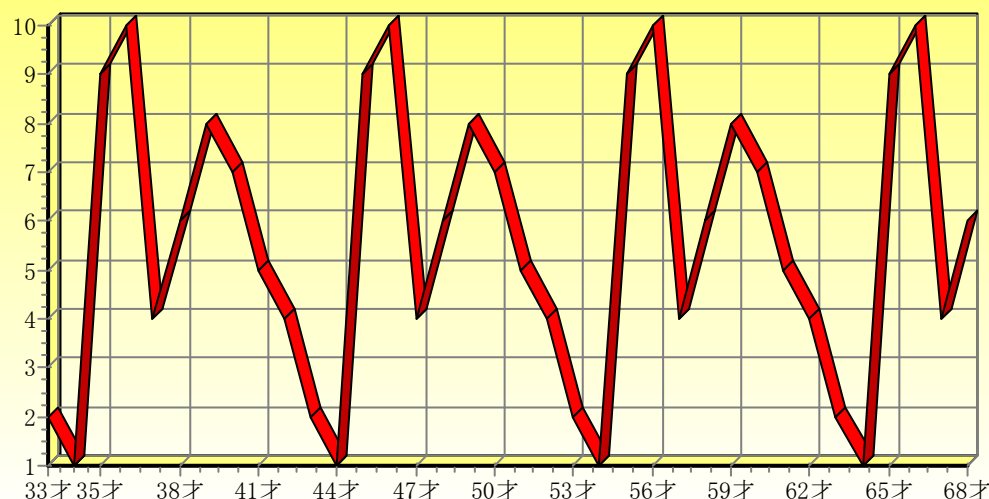
あなたの欠点は、人・金・物、すべてを、自分の見栄を満足させるための、手段、道具として、使ってしまう、信用を失いがちなところ。ですから、着飾ることに興味がなく、お金や栄誉に執着が薄く、自分の趣味を追求し続けているような人が、仕事上のパートナーとして最適です。いっぽうで、華やかな生活を求めるあまり、人の気持ちを無視しがちですから、一緒にいるだけで楽しい気分になったり、人の心をつかむのが上手な人が、魂のふれあいパートナーとして必要です。また、宗教的な悟りを説いて回っているような人、理想主義をかかげるような人とは、お互いを傷つけあうので、同性、異性を問わず、あなたをダメにします。

第四章 総合的に見るあなたの人生グラフ

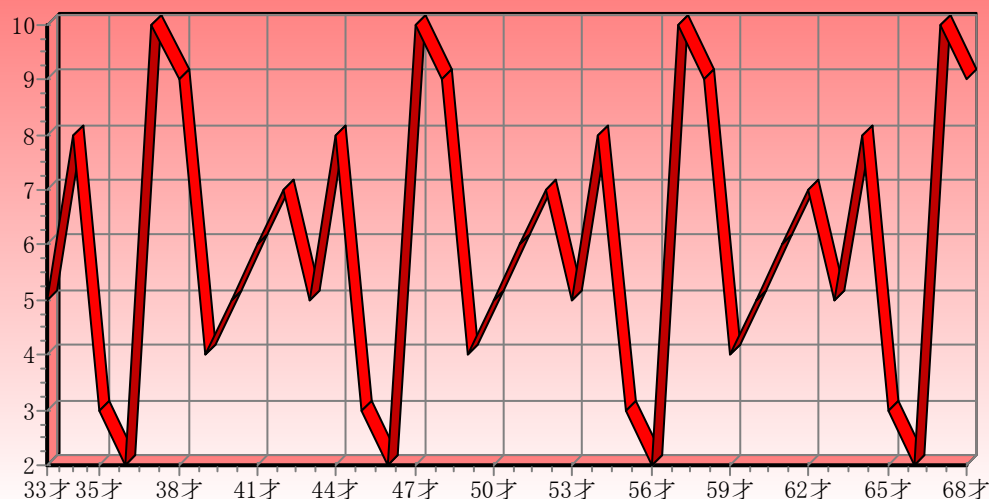
NOTE様 1983/10/7 生まれの鑑定書

干支暦
戊辛癸
辰酉亥

独立・実行運のリズム



奉仕運・表現運リズム



陰陽五行占星術による生涯の活力度指数

・独立運-活力度指数-グラフの指数が高い時

独立運とは、とにかく活力がみなぎる時ですから、他人との競争や、他社との戦いにファイトを燃やせる時です。その分、周囲との摩擦や周囲の意見を無視したりすること多くなり、組織人としてはルールから外れやすい時です。逆に、この時期にだけできることは、思い切って一か八かで独立することです。つまり、将来をいくら計算しても、100%の安全を保障された独立などはありませんので、思い切った独立をやるのはこの時期だけなのです。独立や転職を決意しているのなら実行の時です。車を購入するなど、大きな金額の買い物をしたりするのもこの時期ですが、慎重さが重要な時です。

グラフの下 の 時期は、むやみに行動を起こしてはならない時です。

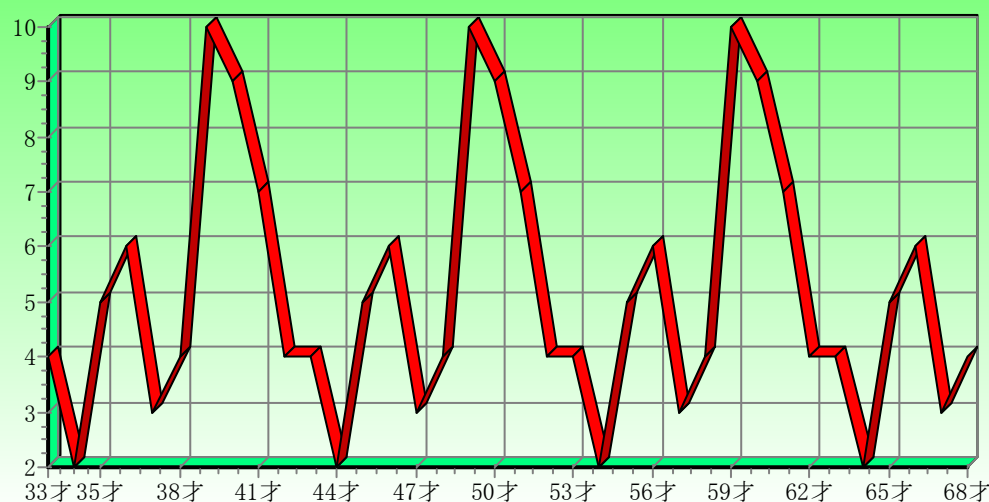
・サービス運-活力度指数-グラフの指数が高い時

サービス運とは、他人や社会にサービスや奉仕をしたいと思う「でしゃばり」の心が強くなる時です。つまり、自分のもっている天賦の才能を社会で生かしたいという思いが強くなり、やらなくても良いことをやってしまう時です。その分、実利的には、メリットがないのですが、社会に貢献したり、その結果名前が売れたり、有名になったりする時期です。自分が前へ前へと出る時ですので、他人の気持ちを思いやる余裕がない時です。独立や転職したい場合には、日々の生活のお金に現状でも困っておらず、しかも新しい仕事で才能が生かせると思うなら実行の時です。

他人の行動や考えを、言葉や態度で否定し、相手を傷つけやすい時ですので、言葉遣いには注意が必要の時です。

グラフの下 の 時期は、自分を表現してはいけない時期です。

支配運・財運のリズム



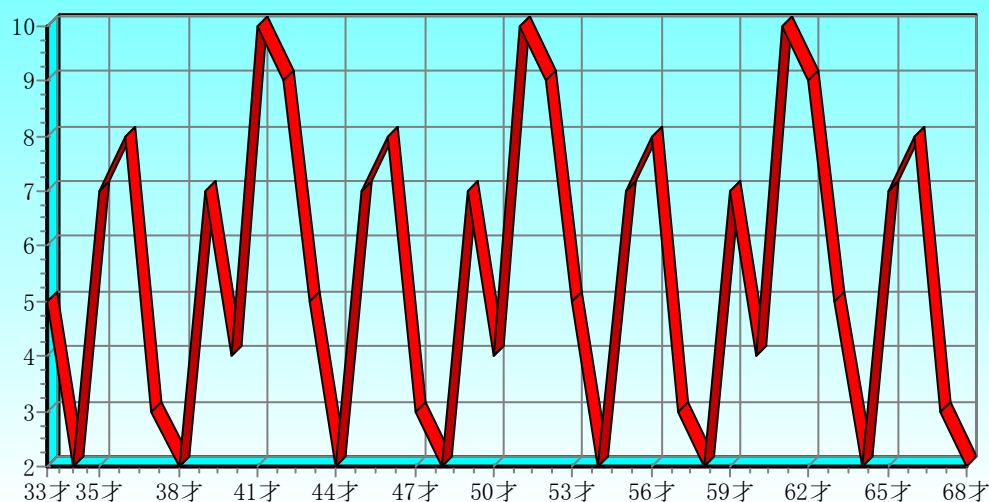
・支配運-活力度指数-グラフの指数が高い時

支配運とは、他人や社会や市場を支配したいと思う時です。つまり、いつもよりも、大衆が実は欲しいと思っているものや、大衆が受けたいサービスの内容にピンとくるのです。ですから、〇〇という戦略で、〇〇という事業を展開すれば、市場を支配でき、人を支配でき、その結果、自分にもメリットがあるという時期なのです。結果として、商売がうまくいって、お金が入ってくるようになるかもしれません。独立や転職を決意し、独自の新しい商品や製品開発と販売に燃えているのなら実行の時です。お金が欲しいというだけの動機では失敗する時です。

相手の心の動きが、いつもよりも察知しやすい時ですから、相手が望むことをしてあげれば、やがてはあなたの無理も聞いてくれるような友人をつくる時です。

グラフの下の時期は、他人の心を理解できない時期です。

仕事運・出世運リズム

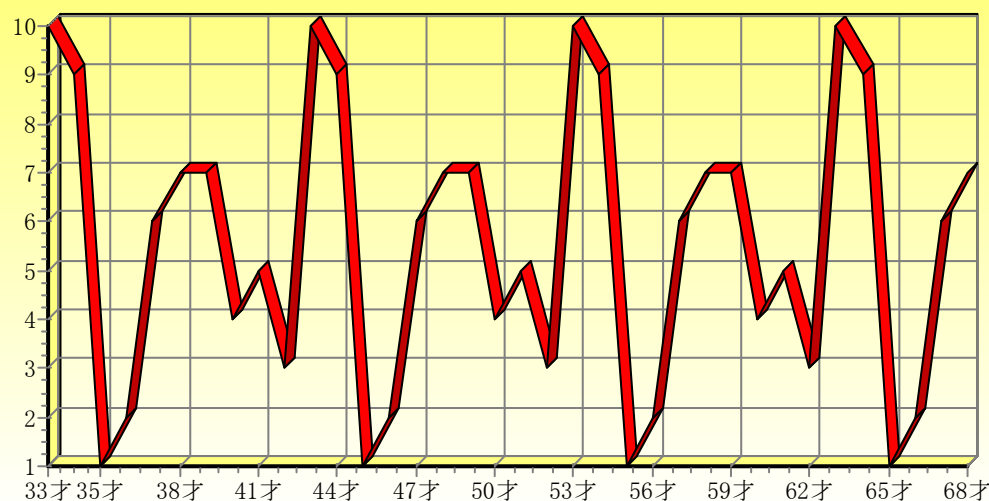


・出世運-活力度指数-グラフの指数が高い時

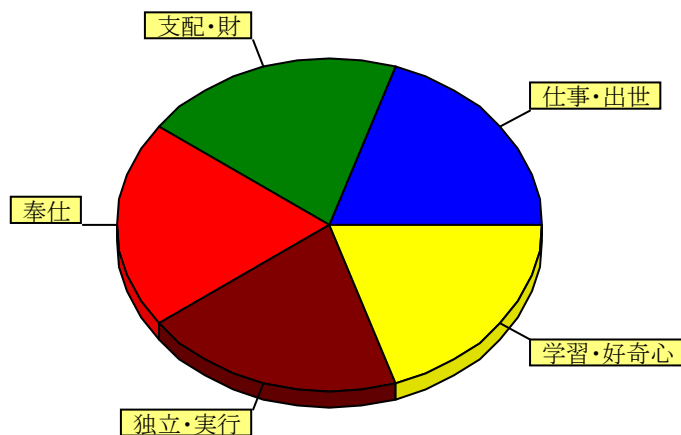
出世運とは、ある一定の組織の中で、その上司や経営者から、いつもよりも難しい仕事や大きな仕事を任せられ、自分の骨と肉体を削って仕事をせざるを得ない時期のことをいいます。他人よりも汗を流し、血を流しての仕事ですから、出世ができる時期なのです。決して、安楽としてできるものではありません。運命学で言う仕事運とは、自分を鞭打っての見返りとしての成功報酬を言うのです。組織に属していない、自営業の方は、命令される人がいないので、出世運は作用しません。得意先から命令され、必死になって働く環境がもしある場合は、出世運といっても良いでしょう。独立や転職を決意しているのなら、待った方が良いでしょう。

妻の場合は、夫や目上から細かく指示されることが多くなる時期です。グラフの下の時期は、目上や上司と縁が薄くなる時期です。

学習・好奇心運のリズム



運のリズムは一定の間隔で繰り返すものである。
これ、すなわち人間の能力の5分類に等しい分類方法。
リズムの判断は、良い悪いという単純なものではない。



・アイデア運-活力度指数-グラフの指数が高い時

実利になるかどうかはともかく、右脳の、宗教的な発想で、ピンときて、ユニークで面白い企画とアイデアを考え、行動する時期です。この時期は、普段は思いもつかないアイデアが、次々に沸いてくるかもしれませんが、それで有頂天になりやすい時期でもあります。あくまでも、アイデアはアイデアであって、それが現実生活で役に立つかどうかは、冷静に判断し、マーケティングをして、戦略を練らなければなりません。独立や転職を決意しているのなら、自分のアイデアをビジネスに結びつけてくれるスポンサーがいるのなら、実行する時です。1人単独で事業を起こすのは止めましょう。また、お金を追い求めるだけの事業も止めましょう。

しかし、この時期は実利よりも楽しみと喜びを中心とした生活で開運する時です。

グラフの下の時期は、新しいことに興味を持たない方が良い時期です。

■リズムは、繰り返す

物事のスタートは、何事も興味から始まります。つまり、好奇心が湧き出て、関心を持ち、学習するところからスタートするのです。それから、次は、関心を持ったことを実行に移します。この期間に色々な人と出会うことがあります。実行に移すと、次は、今までは気にもとめなかった細かい部分が気になるようになります。つまり、趣味から、玄人への脱却です。そうすると、次には、関心のもった内容が、現実的であるのかどうか？本当に社会に貢献するものなのかどうか？を考えるようになります。そして、最後には、いよいよ関心のもった事柄が完成し、それを管理するようになります。こういった5つの工程を経て何事も完成へと導かれるのです。

この5つのリズムの工程は、そのまま人間の能力の5分類に等しいことに気がつかれたでしょうか。これは、陰陽五行占星術の奥義です。

干支暦 戊辛癸
辰酉亥

ランキングで悟りを得るのじゃ
全てが完全であるという人間などいないゆえに
己を良く知ることである。



■口先度ランキング

口先度-心の開放型

五段階のランキング中、第二位です。この人は、細かいところに色々と気がつき、普通の人が発想できないことを発案して言葉に出していくのです。それを具体的にどのように実現していくかという戦略性と行動力、組織力に関しては今一步の面があります。そういった意味でどうしても言葉が優先してしまいます。特に、管理職になれば細かいことを言うので、会議で話す時間が長くなるタイプです。

■優柔不断度ランキング

優柔不断度-心の開放型

五段階のランキング中、第三位です。つまり普通は、さほど優柔不断ではありません。この人は、上司からの指示や会社からの方針が強制されない場合は、ピンとくる自分の感性和判断に従って、鋭く前進していくものです。しかし損得勘定が強いため自分の評価を落としてまでも主張を貫くことはしたくありません。従う振りをして、実は全く従っていないことが多いのですが、これが、意外に上司や会社の圧力に弱く、優柔不断に見えてしまうことがあるのです。

■責任感度ランキング

責任感度-心の開放型

五段階のランキング中、第四位です。この人は、鋭敏な感覚と判断力には自信があるのですが、それが会社においては上司との対立を引き起こすことになるのです。ですから、上司が無理矢理方向性を押しつける場合などは、まったくその指示通りにやらないことも度々です。ですから、上司から見ると責任感があるとはあまり評価されないのです。しかし、自分が納得して関心があるものに対しては、コツコツと細かいところまでをとことん追及してやるという姿勢はあります。十分に話し合っこの人のヤル気と責任感を起こさせることが、使う側のコツとなります。

干支暦 戊辛癸
辰酉亥

《アリの心》・・見て見ぬ振りはできない心



《ギリギリスの心》・・楽しさを最優先



■芸術（真・美・善）を感じる心のランキング

芸術・審美度-心の開放型

五段階のランキング中、第二位です。この人は、鋭い感性、ピンとくるセンスがありますので、美しい自然を見れば、写真を撮りたくなります。そして、美しく写真を撮るために、今度はカメラに凝り出すというどこまでも突っ込んでいく能力です。また、遺跡から掘り出されたバラバラの土器の破片などを時間をかけて復元していくといった作業や、日本刀などの伝統芸能を習得していくといった分野では個性が生きていきます。

■社会経済型ランキング

経済・社会度-心の開放型

五段階のランキング中、第四位です。この人は、自分の関心のある専門分野においては、誰よりも鋭く、研究を続けて行く職人気質のプロの根性があります。ですから、ますます高度になって、複雑になっていく、専門化された社会、経済のシステムの中でうまく興味のある分野が見つければ、発展していくことができるのです。最初からお金目的にやると経済感覚が今一步ですからうまくいきません。

■あなたはアリ型？ギリギリス型？

心の開放型

もともと心が開放されており、人との比較などには関心がなく自分の関心があることには、凝ってしまうタイプです。ですから、凝ってしまうと、先のことを忘れて趣味嗜好に走ってしまう傾向があります。決して悪い気持ちはないのですが、どうしてもその場の楽しみを選択しがちですから、ギリギリスに分類できます。しかし、自分の気に入ったことだけは、コツコツとやれます。

●風水環境

環境において重要なことは、水と風のよどみ、日照具合に注意する必要がある。具体的には、次のことに気をつけてたまえ。

一．家の近くに流れる水辺を用意しておくこと。清流には命が宿り、家自体が霊気の恵みに包まれる。

二．外からの風が常に家の中に静かに入ってくる環境であること。風の流れは、気の流れ、気の流れは、運気の流れである。

三．台所、トイレの水回りの処理は速めに済ませること。水を淀ませると悪臭が発生し、微生物が悪性となり害虫が発生しやすくなる。水が濁ると悪霊を呼び込む原因となるので要注意。

四．室内の換気は自然換気を常に行ない、空気の停滞を無くすこと。空気が停滞すると、悪性の浮遊微生物の温床となり、様々な病気を引起す原因となる。

五．玄関および玄関ドアは大きめに造り、玄関の空間を広めに取ること。玄関の北側は採光を十分考え、間口を大きくして訪問者に安心感を与えること。

六．ゴミは絶対に道路や山に捨てないこと。ゴミを捨てる行為は運勢を捨てることに通じる。ゴミを拾って、運勢を呼び込みたまえ。

●宇宙の気を体内の取り入れ、心身を清めるには

生命誕生の源である「水」、それを補助し形造る「塩」、そこに作用し不思議なパワーを与える「石」、これらを化学変化させ命を宿らせる「光」、見えなくして生命を活かす「微生物群」、これらを吸収し命の息吹を発生させる「樹木」や海底の「海藻達」。そして、これらのすべてを受け入れる「大地・土」。身の回りにある、これらのものを、なるべく高品質のものを使うことである。都会の水道から出てくる水は、気が死んでいるので、少しでも良い水にすることである。塩も岩塩などの自然のものを使うと良い。石は、水晶などの特別の気の入ったものを身の回りに使うことである。蛍光灯の白い光ではなく、あたたかい感じのする電灯を利用し、微生物が生きている土壌で栽培された自然の野菜を食べるといった生活を心がけると良い。

★護符について

神仙が空から地上の山や河の様子を見て、その素晴らしさを文字の形で霊写したものが最初の護符の起源である。つまり、一つ一つの形に霊的な意味がこめられており、神秘的な力を持つものである。

例えば、夫婦の不和を静める護符は、男と女が抱き合っている形をしている。恋愛成就是、積極的な行動とそれを受け入れる形になっている。商売やお金に関することは、人が人を支える形になっており、商売の基本は人から支持されることを意味している。

従って、自分が願う内容の護符を常時身につけて、24時間その内容を潜在的に意識の中にイメージすることで、具体的に効果が現われるのである。または、壁に貼って毎日見るのも良い。

自分勝手な自己中心的な思いや、他人を傷つけるような欲望しか持てないようでは、護符を持っても効果はない。

■あとがき

本鑑定書では、書籍などでは絶対に読み取ることができない未公開の秘伝的な内容を分かりやすく公開してあります。逆に言うと、書籍の内容とは異なる部分もあるかもしれませんが、天界と交わることができる現代の陰陽師の協力を得て、開発を行いました。本内容を実践することにより、希望ある人生を切り開いていけるようお祈りしております。

■発行元

TEL

■能力をはぐくむ家庭環境

それでは、具体的に、能力つまり、ここでいうところの通変星の作用が発揮されるために必要な家庭環境を説明してみましょう。

●「印」の心とは、愛情、育む心、楽しい心。この能力が形成されるためには健全な母親の存在が必要です。陽気で明るい健全な母親が不在の家庭からは、この「印」の才能の正しい成長は期待できません。

●「財」の心とは、決断の心、家庭をコントロールする心、人の心をつかむ心です。この能力が形成されるためには健全な父親の存在が必要です。家庭の柱となって家族を指導することができる父親が不在の家庭からは、この「財」の才能の正しい成長は期待できません。

●「比劫」の心とは、兄弟の心、仲間の心、競争の心です。この能力が形成されるためには、健全な兄弟、友人の存在が必要です。ケンカできる仲間、何でも話し合える友人がいない環境では、この「比劫」の才能の正しい成長は期待できません。

●「官」の心とは、妻から見た尊敬できる夫、従うべき人間という尊敬心です。この能力が形成されるためには、健全な学校の先生、尊敬できる師の存在が必要です。尊敬できる夫、先生、師がいない環境では、この「官」の才能の正しい成長は期待できません。

●「食傷」の心は、自己表現の心。自己表現ができないような堅苦しい組織や環境では、この能力は形成されることはありません。

■本鑑定書で使う用語

本鑑定書では、通常の本に記されているような用語を使っていません。次のように用語を分かりやすいように規定しています。

●比肩と劫財を「比劫」といいますが、本鑑定書では、「人指向型」と定義します。

●傷官と食神を「食傷」といいますが、本鑑定書では、「心の開放型」と定義します。

●正財と偏財を「財」といいますが、本鑑定書では、「納得・支配型」と定義します。

●正官と偏官を「官」といいますが、本鑑定書では、「管理型」と定義します。

●印綬と偏印を「印」といいますが、本鑑定書では、「好奇心型」と定義します。

